

平成24年度教育研究活動報告書

氏 名	勝矢 倫生	所 属	経済情報学部
学 位	博士（経済学）	職 位	教授
専門分野	日本経済史		
I 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	経済史・日本経済史・基礎演習Ⅱ・専門演習Ⅰ・専門演習Ⅱ		
大学院	日本経済史特論・地域経済論特論（分担）		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
<p>（1）「広島藩における宿駅経営の負担構造—西国街道海田宿の場合—」（尾道短期大学『研究紀要』第37巻1号 所収）1988年3月 A5判63～155頁</p>			
<p>（2）『広島藩地方書の研究』英伝社 1999年8月 A5判全504頁</p>			
<p>（3）「福山藩における土免制の基礎構造—地方書「郷中覚帳」の分析を中心に—」（広島大学文学部『史学研究』第228号 所収）2000年6月 A5判2段組79～103頁</p>			
<p>（4）「土免制下、福山藩における木綿徴租法」（広島大学文学部『史学研究』第235号 所収）2002年1月 A5判2段組31～52頁</p>			

(5) 「福山藩における蘭田徴租法」(尾道大学『経済情報論集』第4巻1号 所収) 2004年6月 B5判73~99頁

本年度を含む過去5年間の研究業績

(1) 「徳川期尾道の経済構造—問屋商事の展開を中心に—」(尾道大学地域総合センター叢書2『尾道まちづくり—過去・現在・未来—』 所収) 2008年8月 57~

(2) 「徳川期における耕地水害復旧支援策の展開構造—福山藩起こし鍬下年季仕法の分析を中心に—」(『日本史年次別論文集(近世1) 2006年版』共著 朋文出版 所収) 2009年6月 B5判変形516~542頁

(3) 「福山藩における漢作・稗作徴租法」(尾道大学『経済情報論集』第10巻第1号 所収) 2010年6月 B5判137~182頁

(4) 徳川期尾道地域における手工業の発展構造—碓・農器工業の展開を中心に—(尾道大学地域総合センター叢書6『尾道、まちと人』 所収) 2013年3月

現在の研究テーマ(3つまで)

福山藩における地方書の研究

研究テーマの
進捗状況

地方書「郷中覚帳」の解析を基礎に、福山藩の家作徴租法と塩浜運上の研究を継続している。

学会、所属団体における活動

所属学会・所属団体 役職等

社会経済史学会、地方史研究協議会、日本歴史学会、広島史学研究会、芸備地方史研究会